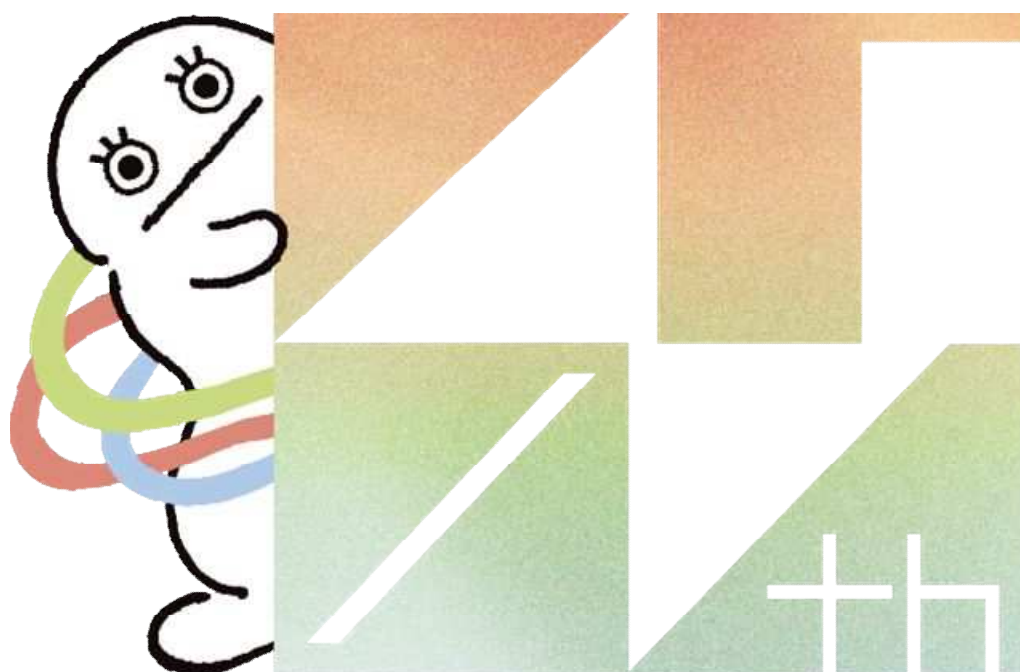


2024年度版

環境活動レポート

(対象期間：2023年10月～2024年9月)



65年に感謝、100年への夢を共に。

発行日：2025年 1月17日



株式会社 **タカヤマ**



目 次

- 【1】 会社概要
- 【2】 実施体制
- 【3】 実施体制における役割、責任及び権限
- 【4】 環境経営方針
- 【5】 当社の取り組み
 - 5-1. S D G s の取り組み
 - 5-2. 地域融和の推進
 - 5-3. 安全への取り組み
 - 5-4. 法令遵守への取り組み
 - 5-5. DXによる業務改善
- 【6】 中期環境経営目標
- 【7】 環境活動の取り組み結果と評価
 - 7-1. 環境負荷の実績
 - 7-2. 評価
- 【8】 環境活動計画と実績
- 【9】 環境関連法規制等の遵守状況
 - 9-1. 適応法規と規制事項
 - 9-2. 遵守確認
- 【10】 代表者による全体評価と見直しの結果
 - 10-1. 情報の収集と分析
 - 10-2. 変更の必要性・指示事項
 - 10-3. 総合評価
- 【11】 次年度の取り組み



【1】 会社概要

◆会社概要

2024年10月1日 現在

事業所名	株式会社タカヤマ			
所在地	本 社	埼玉県所沢市大字南永井37番地9号		
		Tel. 04-2993-1213		
	ナチュア(車輛基地)	埼玉県所沢市大字南永井14番地		
		Tel. 04-2994-7111		
	駐車場	埼玉県所沢市大字南永井39-1		
		埼玉県所沢市大字南永井38-1		
エコジョイン 北関東	埼玉県本庄市児玉町共栄710番地6			
	Tel. 0495-72-6565			
代 表 者 名	代表取締役 齊藤 康祐			
環境管理責任者	EA21	後藤 究 (本社)		
	ISO14001	宮崎 秀男 (エコジョイン北関東)		
品質環境推進室 (EA21)	担当者 連絡先	後藤 究		
		Tel. 04-2993-1213		
		Mail. k_gotou@takayama.org		
設 立 年 月 日	1974年1月31日			
資 本 金	4,000万円			
事業年度	第51期 2023年10月1日～2024年9月30日			
事業規模		全社	本社・ナチュア	駐車場
	売上高	3,357,729千円	2,251,621千円	
	従業員数	138名	120	
	延床面積	3,300㎡	491.02㎡	487㎡
	収集運搬実績 (委託を含む)	57,521 t	57,521 t	
	中間処分実績	66,133.9 t	—	
	浄化槽維持管理件数実績	274件	274件	
事業内容	●産業廃棄物収集運搬		●一般廃棄物収集運搬	
	●産業廃棄物処分（中間処分）		●浄化槽維持管理	
	●グリストラップ清掃		●排水処理設備保守点検	
	●排水管清掃		●排水処理設備補修・更新工事	
	●各種排水槽清掃			
URL	企業サイト	http://takayama.org		
	営業サイト	http://odei.jp		
		http://takayama.org		

◆ 廃棄物処理等料金

処理料金につきましては種類・性状・量等により異なりますので、個別にお見積致します。
下記担当までお問い合わせください。

営業窓口 担当者	後藤 究
	Tel. 04-2993-1213
	Mail. k_gotou@takayama.org

◆ 施設等の状況（車両一覧 ※営業車を除く）

2024年10月1日 現在

12 t 清掃車	1台	3 t キャブオーバ	5台
10 t 清掃車	6台	4 t 塵芥車	21台
10 t ダンプ	2台	3 t 塵芥車	2台
10 t 脱着装置付コンテナ専用車	0台	2 t ダンプ	3台
7 t 脱着装置付コンテナ専用車	3台	バン	2台
4 t 清掃車	7台		
3 t 清掃車	12台		
2 t 清掃車	1台		
高圧洗浄車	3台	合 計	68台
低燃費車の導入状況 平成27年度燃費基準達成車		54台	車両に占める割合 79.4%
ドライブレコーダー搭載車両		68台	車両に占める割合 100.0%

※「運搬車の排出ガス規制一覧」「低燃費車の導入状況」は(財)産業廃棄物処理事業振興財団

「産廃情報ネット」で公表しています。

https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=000351

◆ 許認可一覧

2024年10月1日 現在

許可・届出名	許可エリア ・届出先	優 良	許可の年月日	許可期限	許可・登録番号
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	○	H27.6.10	R11.6.9	01104000351
	東京都	○	H28.5.24	R12.5.23	1300000351
	栃木県	○	H29.2.25	R13.2.24	00900000351
	群馬県	○	H29.7.3	R13.7.2	01000000351
	千葉県	○	H29.10.31	R13.9.15	01200000351
	茨城県	○	H30.6.20	R7.5.13	00801000351
	長野県	○	H25.10.4	R9.10.3	2009000351
	山梨県	○	H30.2.26	R7.2.25	01900000351
	神奈川県	○	H28.11.18	R12.10.28	01402000351
	福島県	○	H26.10.20	R10.10.12	00707000351
	静岡県	○	H29.4.23	R13.4.22	02202000351
	新潟県	○	H26.5.19	R10.5.18	01509000351
	宮城県	○	H25.6.23	R9.6.22	00400000351
産業廃棄物処分業 (中間処分)	埼玉県	○	H28.1.13	R12.1.12	01120000351
一般廃棄物収集運搬業	所沢市	-	H30.4.1	R8.3.31	第4号
特別管理産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	○	H30.8.23	R12.8.22	01150000351

※産業廃棄物許可品目

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、燃え殻、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん

※一般廃棄物許可品目

ごみ、し尿、浄化槽汚泥、その他（特定家庭用器機廃棄物）

※県ごとの許可品目はコーポレートサイト及び、(財)産業廃棄物処理事業振興財団

「産廃情報ネット」で公表しています。

https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=000351

◆処理量（収集運搬）の内訳

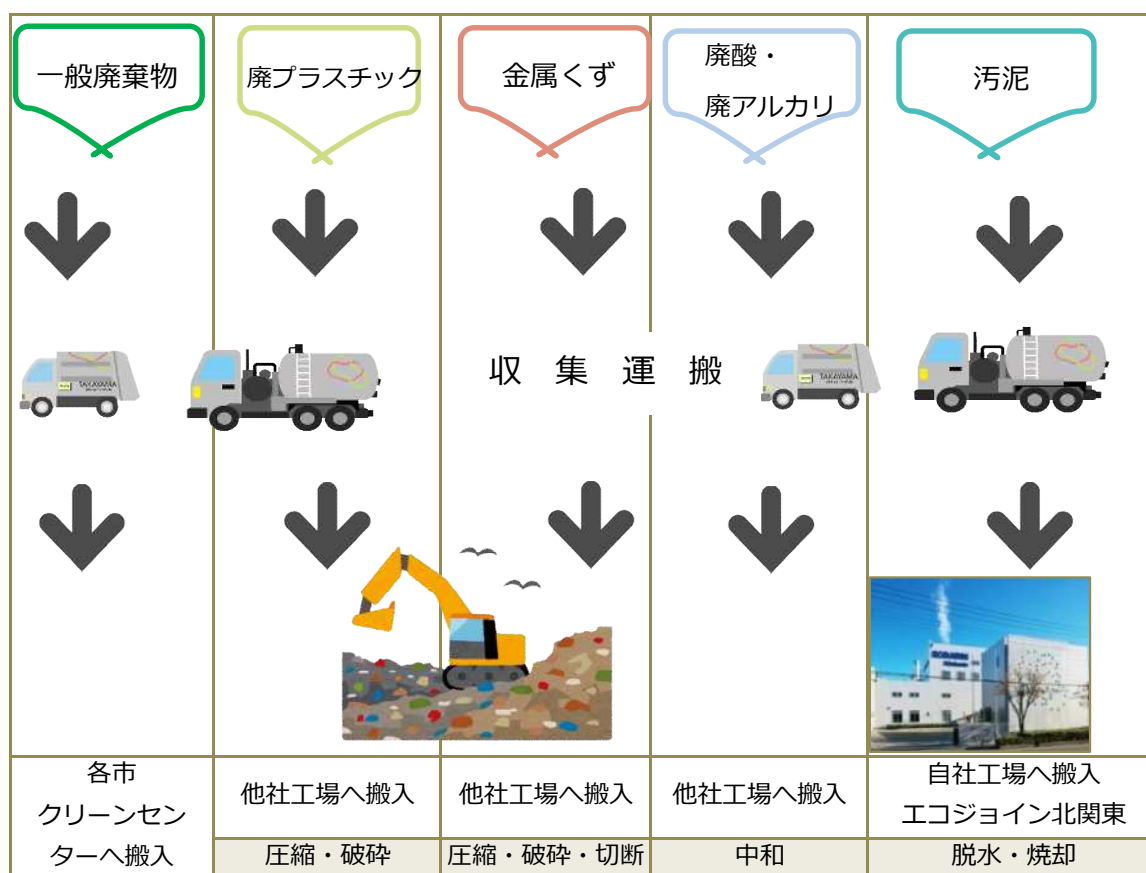
51期（2023年10月～2024年9月）

汚泥	37,310.0	動植物性残渣	342.8
廃油	7.2	ゴムくず	0.0
廃酸	1.1	金属くず	22.7
廃アルカリ	56.2	ガラス・陶磁器くず	11.8
廃プラスチック類	302.0	がれき類	6.2
紙くず	0.0	燃え殻	18.3
木くず	33.6	ばいじん	6.3
繊維くず	0.0	焼却灰	0.0
一般廃棄物（ごみ）	17,804	一般廃棄物（汚泥）	1,599
		合 計	57,521

※（単位：t、小数点第一位四捨五入）

※一般廃棄物（ごみ）は、家庭系一般廃棄物（委託業務）と事業系一般廃棄物の合計量です。

◆処理工程



※エコジョイン北関東 処理能力

脱水施設 200 m³/日（有機汚泥に限る）

脱水施設 150 m³/日（無機汚泥に限る）

焼却 50 m³/日

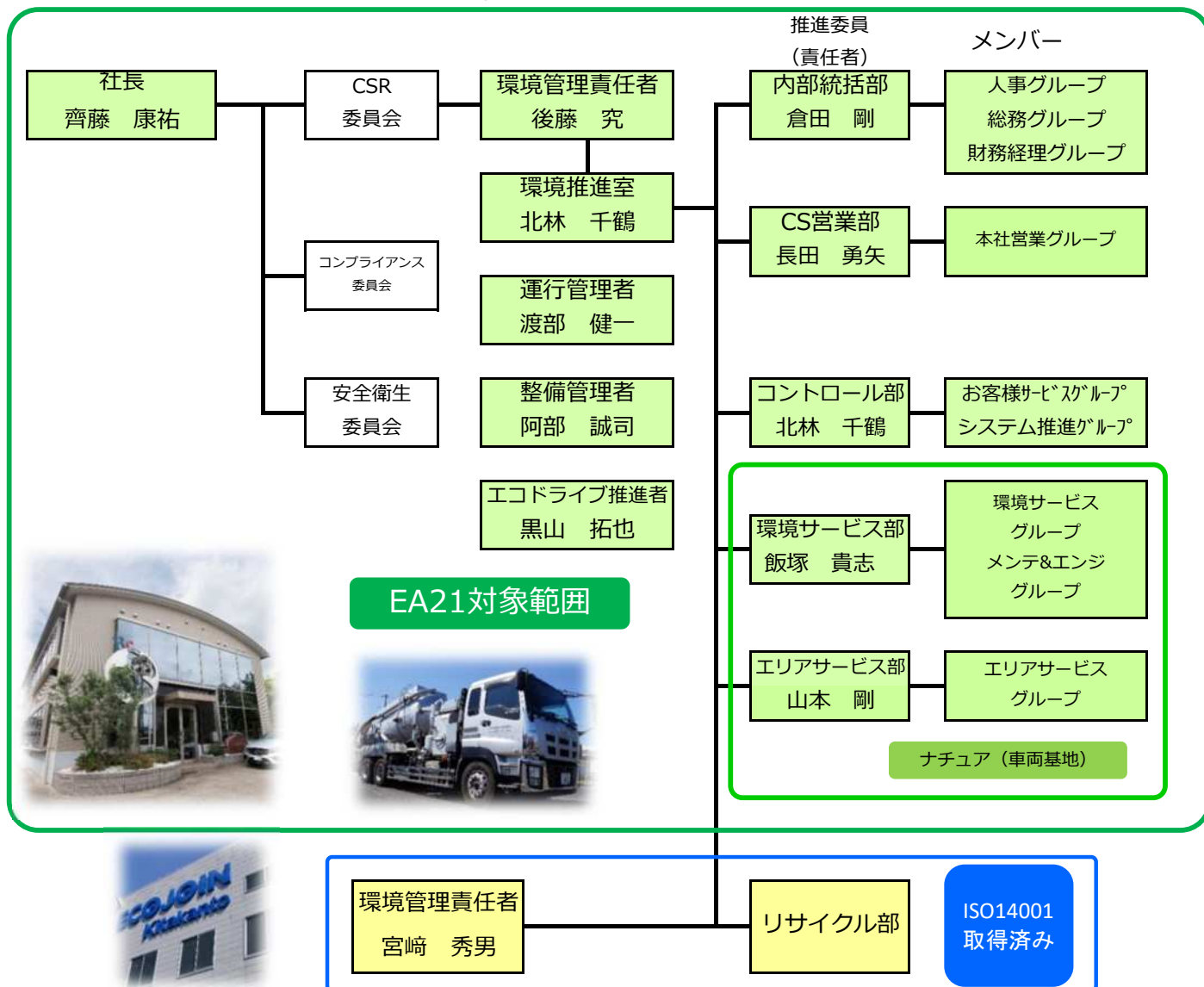
【2】 実施体制

◆エコアクション21認証・登録

対 象 事 業 所	株式会社タカヤマ 本社（ナチュアを含む）
認 証 登 録 番 号	0008168
認 証 登 録 日	2012年3月30日

◆エコアクション21組織図 （CSR委員会体制）

2024年度（51期2023年10月～2024年9月）全組織図及び取得対象範囲



※当社リサイクルグループ（エコジョイン北関東）は「ISO14001」を取得している為、エコアクション21の取り組みから除外しています。

【3】 実施体制における役割、責任及び権限

役 割	主 な 責 任 と 権 限
社長	1. 環境方針の制定 2. 環境管理責任者の指名 3. 経営資源（人、設備、情報等）の提供 4. E A 2 1 取組状況の評価と改善の指示
環境管理責任者	1. E A 2 1 の構築と運用 2. 遵法性の評価 3. 環境目標と環境活動計画の実施状況の検討 4. コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認 5. 環境目標・環境活動計画策定時の承認 6. CSR委員会の総括
環境推進室	1. 外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応 2. 外部への窓口業務 3. 環境活動レポートの作成
CSR進委員会	1. E A 2 1 の周知・徹底と教育の計画、実施、管理 2. 各部門における活動計画の策定、管理及び総括 3. 文書管理及び記録の管理 4. データの集計、取りまとめ、各部門への報告・周知 5. 問題点の是正・予防記録の作成
メンバー	1. 環境方針の確認・理解 2. 各部門の目標、活動計画の実施 3. 緊急事態への対応

※2ヶ月に1回CSR委員会を実施する。



【4】 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

タカヤマは、人々への快適環境を提供する仕事を通じ、
地域との共生を図り、地球環境の保全の重要性を認識し、
全社員が一丸となって、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

【基本方針】

1. エコアクション21で環境管理体制の整備や環境経営の継続的改善を行うことで、環境保全活動を推進します。
2. 廃棄物の収集運搬・処分に於ける環境負荷を低減するため、次の項目に取り組めます。
 - 1) 省エネルギー（電力・燃料等）の推進
 - 2) 省資源（水・紙等）の推進
 - 3) 廃棄物の3R（減量・再使用・再利用）の推進
 - 4) SDGs（持続可能な開発目標）の推進
3. 関連する環境関連法規則の要求事項を遵守します。
4. 全社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を周知徹底します。
5. この環境方針は社外にも公表します。



2022年10月1日

株式会社タカヤマ

代表取締役 齊藤康祐

【5】 当社の取り組み

1. SDGsの取り組み



SDGsとは？

SDGsとは、「持続可能な開発目標」のことであり、読み方は「エス・ディー・ジーズ」です。これは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。当社は2018年度からSDGsについて学び、経営に取り入れました。



さまざまなSDGs活動

CO2削減対策工事プロジェクト

2023年6月にCO2削減対策工事プロジェクト先導の元、中間処理施設エコジョイン北関東の焼却施設で使用していた焼却燃料を重油から都市ガスに切り替えが完了しました。これにより焼却によるCO2排出量が従来の約30%削減の見込みとなります。

2023年のエコジョイン北関東のCO2排出量目標は5,290 tでしたが、実績は4,657.748 tと約632 tのCO2削減ができました。2024年は4,000 tを目標にCO2削減に取り組んでまいりましたが、結果は4,377t



中期SDGs計画の策定



「SDGsで100年繁栄する企業を実現する」をスローガンとして以下の3つ掲げています。

- ①脱炭素・環境保全で業界トップを走り続ける
- ②会社と地域がつながる地域融和・地域貢献
- ③働きやすく、成長のチャンスがある職場環境整備

<目標数値_2028年9月まで>

- ①脱炭素目標 2018年度比38%削減 排出量4,837 t
- ②地域融和・貢献目標 社員の活動参加時間 3日/年
- ③多様な働き方目標 従業員満足度95点以上

未来へのビジョンを創り出す

～中期SDGs計画～

SDGsで100年繁栄する
企業を実現する

- ①脱炭素・環境保全で業界トップを走り続ける
- ②会社と地域がつながる地域融和・地域貢献
- ③働きやすく、成長のチャンスがある職場環境整備

51～55期の5カ年スローガン

51期	会社のCO2削減行動をみんなのアイデアで支えよう！ ・脱炭素推進人、エコドライブ実践、燃費削減コンテスト ・燃費改善率CO2削減削減率向上、品物調達削減率向上（マイカー、マイバック活用など）	52期
52期	災害に負けない地域を支えよう！ ・災害時 避難場所協力強化、地域性向上と災害対策、防災訓練 ・大震災への、防災訓練、防災訓練、避難訓練	53期
53期	働く環境をみんなで支え合ってより良くしよう！ ・社内による社内業務改善、働き方改革、働き方改革 ・働き方改革推進、働き方改革、働き方改革	54期
54期	地域を支える基幹企業になろう！ ・子会社の環境対策、環境対策、環境対策、環境対策 ・地域貢献推進、地域貢献推進、地域貢献推進、地域貢献推進	55期
55期	世界と日本のCO2削減目標達成も支えよう！ ・脱炭素推進人、脱炭素推進人、脱炭素推進人、脱炭素推進人 ・脱炭素推進人、脱炭素推進人、脱炭素推進人、脱炭素推進人	

社会を根底から支える企業へ

タカヤマSDGs オリジナル基金



2023年10月より環境貢献企業の責任としてSDGsの
推進・社会貢献・地域貢献に寄与する目的で

タカヤマSDGsオリジナル基金をはじめました。

CSR委員会を中心とした運営委員会を発足し、
各拠点に募金箱を設置します。社会貢献、地域貢献に
繋げる取組みとして活動を行ってまいります。

2024年1月の能登半島地震復興へ微力ながら義援金を



ペットボトルキャップ 回収活動



実施日：2024年7月6日（土）～12日（金）

ペットボトルキャップの分別・回収は以前から行っていましたが、どのぐらいの量を改修し、どのようにリサイクルされているかまでは把握できていませんでした。そこで「NPO法人エコキャップ推進協会」の制度を活用し、再生プラスチック原料として目に見えるリサイクルに取り組みました。回収されたペットボトルキャップは破砕されてペレット化し、リサイクル製品の原料となります。今回回収したペットボトルキャップは重さにして38.98kg、CO2発生抑制量は約111kgとなりました。各拠点に回収BOXを設置し、全社員が取り組むことの出来るSDGs活動のひとつとして活動することができました。



地域環境学習



実施日：2024年8月19日（月）

環境教育として小学生を対象とする、所沢市立ひかり児童館「夏休みエコひろば」に参加しました。参加した小学生には、所沢市で配布されている「家庭の資源とゴミの分け方・出し方」という冊子を使用しながらごみの分別クイズなどを行ってもらいました。これからも環境について理解を深めてもらえる教育の場に積極的に参加してまいります。

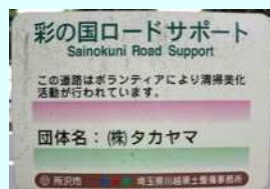


2. 地域融和の推進

◆彩の国ロードサポート、ロードレポーター

活動時期：1月・4月・7月 ※天候不良時は中止

活動内容：県道所沢堀兼狭山線の中富南二丁目26付近から27付近までの200m間を、毎回15名程度が参加し歩道のごみ拾い等清掃を行なっています。また路面等に不具合が無いか確認報告もしています。今期は3回実施しました。



2022年11月には埼玉県川越県土整備事務所よりロードサポートの取り組みへの御礼状をいただきました。

◆清掃ボランティア

活動時期：2024年5月18日（所澤神明社・航空記念公園）

2024年11月16日（本庄市女堀川）

活動内容：若手新卒社員で構成される「若タカ会」主催の清掃ボランティア活動です。今回は、航空記念公園及び所澤神明社と本庄市の女堀川の清掃ボランティア清掃を行い、地域貢献をさせていただきました。スタッフのご家族にも参加いただき、ボランティアを通じて家族ぐるみの交流ができています。地域の方々や担当の方から感謝のお言葉をいただくと、この活動の有意性を感じられます。



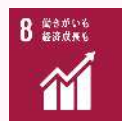
2021年4月には埼玉県の「川の国応援団美化活動団体」に登録し、女堀川に看板を立てて頂きました。➡

3. 安全への取り組み

◆安全衛生委員会

活動時期：毎月第2木曜開催

活動内容：職場での従業員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成と促進に向け、毎月1回産業医による職場環境の確認と従業員からヒアリングを行っています。また出勤日は血圧・心拍数の計測及び記録を実施し、継続して体調不安の従業員は委員会に参加し、産業医から直接健康指導を受けることもできます。



◆安全大会

活動時期：不定期（年4回程度）

活動内容

【火災、消火器対応】

2023年12月1日実施

【積雪時のタイヤチェーン装着訓練】

2023年12月18日実施

【豪雨・冠水対策訓練】

2024年5月23日実施

【熱中症対策】

2024年7月6日実施



4. 法令遵守への取り組み

◆コンプライアンス委員会

活動時期：各月最終週に開催

活動内容

頻繁に行われる法改正へ対応することに加え、お客様に正確な廃棄物処理の提案を行う為に2008年より2ヶ月に1回、外部の専門家を招き、役員を委員長として各部門の担当者10名前後が集まり様々な議論を行なっています。またマニフェスト伝票・契約書は、「コンプライアンスルーム」と呼ばれる専用の部屋で「誰でも見やすく、分かり易く」管理しています。

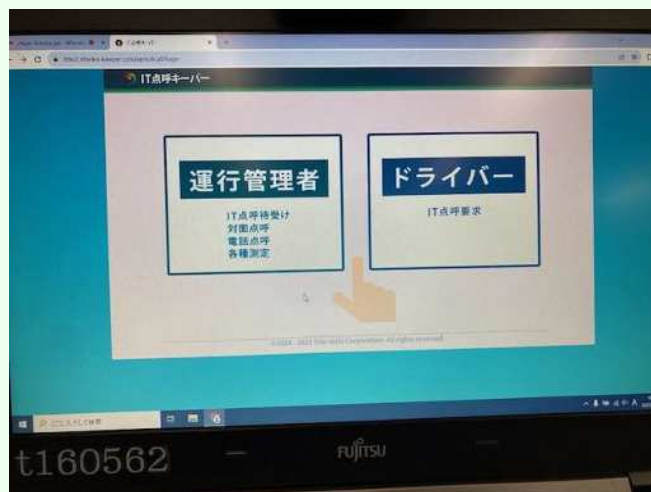


5. DXによる業務改善

◆IT点呼の導入

2022年9月よりIT点呼を導入しました。

手書きでの点呼による運行管理者の負担がなくなり、点呼記録がクラウド上に保存されるため保管場所の必要がなくなりました。課題であったアルコールチェックの未実施に関しても、未実施の際のアラートで防ぐことができています。IT点呼に血圧計もオプションで加え、健康管理を行っています。



◆車両管理アプリ導入

2022年には乗車記録と車両点検表、リスクアセスメントシートの管理について自社開発のアプリを導入しました。乗車記録と車両点検表についてはIT点呼同様クラウド上に保存されるので管理業務の軽減が図れました。保存義務は1年間ですが2年以上のデータ容量が確保できます。リスクアセスメントに関しては、管理者も同様のアプリを使用して確認することができます。また年間で約22,000枚のペーパーレス、管理者との情報共有、車輛の不具合の際の修理手配がスムーズになったなど多くのメリットがありました。今後も各部署の課題についてDXを進めてまいります。

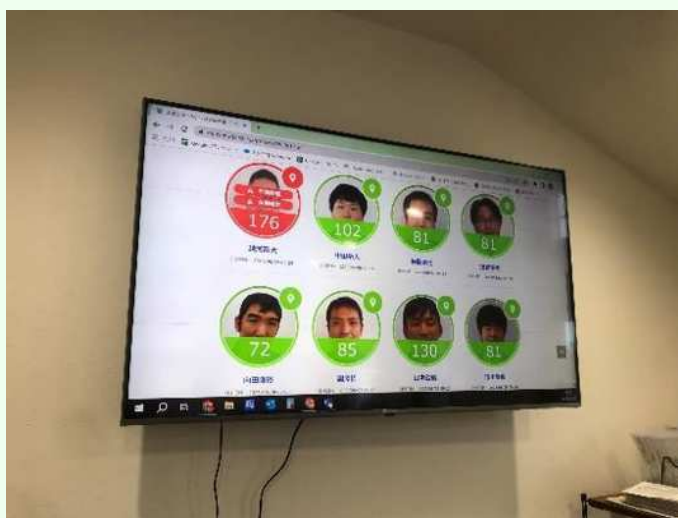


◆リストバンド型ウェアラブルIoTサービスの導入

2023年夏季より熱中症対策としてウェアラブルIoTサービスを導入しました。作業スタッフがリストバンド型の端末を装着し、スマートフォンと連動させ、「熱ストレス」「作業強度」「心拍数」を測定し、異常が発生した際にアラートを発する仕組みとなっています。管理者は管理画面で個人の状態を確認することができます。作業スタッフは異常の通知が来ても気づかない事が殆どなので、管理者がいち早く気付く「ラインケア」と言われるものが最大のポイントとなります。

毎年夏季には5～6名の熱中症者が出ていましたが、2023年夏季においては1名という結果でした。2024年からは全社員に支給し、7月には熱中症対策の安全大会を実施。この夏は、重度の熱中症と

なった社員は0にできました。しかしながら、熱中症手前の状態になる社員は数名出ています。業務の性質上、熱中症は常に隣り合わせです。今後も夏場の熱中症対策に努めて参ります。



【6】 中期環境経営目標

48期2022年10月～52期2025年9月

項目	単位	2021年 (48期)	2022年 (49期)		基準年比 (%)	2023年 (50期)		基準年比 (%)	2024年 (51期)	基準年比 (%)	2025年 (52期)	基準年比 (%)	2028年 (55期)	基準年比 (%)
		実績(基準値)	目標	実績		目標	実績		目標		目標		SDGs目標	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,272,397	1,259,673	1,238,249	99%	1,225,866	1,214,230	96%	1,100,000	86%	1,081,537	85%	1,040,000	82%
電力消費量 ※1)	kWh	71,925	71,206	78,108	99%	77,327	87,260	108%	61,856	86%	61,136	85%		
L P Gガス消費量	kg	607	601	676	99%	669	706	110%	522	86%	516	85%		
ガソリン消費量	L	29,404	29,110	25,963	99%	25,703	22,676	87%	25,287	86%	24,993	85%		
軽油消費量	L	452,769	448,241	441,411	99%	436,997	433,948	97%	389,381	86%	384,854	85%		
運搬車両の燃費向上	km/L	プラス0.1 (車種毎対前年)	プラス0.1 (車種毎対前年)			プラス0.1 (車種毎対前年)			プラス0.1 (車種毎対前年)		プラス0.1 (車種毎対前年)			
上水使用量削減	m3	2,067	2,046	2,149	99%	2,128	2,052	103%	2,067	100%	2,046	99%		
廃棄物排出量削減 ※2	kg	23,310	23,077	22,595	99%	22,369	18,259	96%	22,145	95%	21,924	94%		
地域融和の推進	-	実施	実施			実施			実施		実施			
環境配慮サービスの提供	-	実施	実施			実施			実施		実施			

* 運搬車両燃費の単位は、前年度原単位比・車種毎平均燃費

※1) 電力のCO2排出係数は0.457kg-CO2/kwh(東京電力エナジーパートナー、2022年度)を使用

※2) 産廃と一般廃の合計数値。(循環資源として再使用・再生利用されるものは除く)

※3) 化学物質使用量は少量になるため目標設定をしておりません

【7】 環境活動の取り組み結果と評価

1. 環境負荷の実績

エコアクション21を認証・取得した2010年度を基準（100%）とし、当年度までの「二酸化炭素排出量」「上水使用量」「廃棄物排出量」の実績値を記載します。
なお、購入電力のCO2排出係数は0.457kg-CO2/kwhを使用しています。（東京電力エナジーパートナー、2022年度）

項目	単位	2010(37期)	2012(39期)	2020(47期)	2021(48期)	2022(49期)	2023(50期)	2024(51期)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,226,890	1,195,500	1,303,913	1,272,397	1,238,249	1,214,230	1,184,957
	2010比	100.0%	97.4%	106.3%	103.7%	101%	99%	97%
上水使用量	m3	3,369	2,455	1,796	2,067	2149	2052	2034
	2010比	100.0%	72.9%	53.3%	61.4%	64%	84%	83%
廃棄物排出量	kg	－	11,216	15,895	23,310	22,595	18,259	7,950
	2012比	－	100.0%	141.7%	207.8%	201%	163%	71%

2024年度（51期2023年10月～2024年9月）
次年度の環境目標値は前年度の実績値の99%とします。

取り組み項目	単位	前年実績 2023年(50期)		目標 2024年(51期)		実績 2024年(51期)		評価	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,214,230		1,100,000		1,184,957		×	
				前年実績比 90.6%	目標比 107.7%				
	電力消費量 ※1	kWh	87,260		86,387		89,459		×
					前年実績比 99.0%	目標比 103.6%			
	LPGガス消費量	kg	706		699		887		×
					前年実績比 99.0%	目標比 126.9%			
	ガソリン消費量	L	22,676		22,449		15,992		○
					前年実績比 99.0%	目標比 71.2%			
	軽油消費量	L	433,948		429,609		428,017		○
					前年実績比 99.0%	目標比 99.6%			
上水使用量	m3	2,052		2,031		2,034		×	
				前年実績比 99.0%	目標比 100.1%				
廃棄物排出量 ※2	kg	18,259		18,076		18,712		○	
				前年実績比 99.0%	目標比 103.5%				
紙の使用量	枚	259,352		256,758		258,406		×	
				前年実績比 99.0%	目標比 100.6%				
運搬車両の燃費向上	km/L	環境サービス	5.1	環境サービス	5.0	環境サービス	5.0	○	
		エリアサービス	5.1	エリアサービス	5.1	エリアサービス	4.9	×	
		メンテ&エンジ	11.4	メンテ&エンジ	11.1	メンテ&エンジ	9.6	×	
地域融和の推進	実施	実施		実施		実施			
環境配慮サービスの提供	実施	実施		実施		実施			

※ 運搬車両燃費の単位は、前年度原単位比・車種毎平均燃費

- ※1）電力のCO2排出係数は0.457kg-CO2/kwh（東京電力エナジーパートナー、2022年度）を使用
※2）産廃と一般廃の合計数値。（循環資源として再使用・再生利用されるものは除く）
※3）化学物質使用量は少量になるため目標設定をしておりません

2. 評価

【二酸化炭素排出量の削減】
毎年気温が上昇する酷暑の期間中は、省エネよりも体調管理を優先し、冷房の使用を推奨した為、電気使用量も例年以上となった。遮熱対策や太陽光発電等の対策も必要になってくるが、コストもかかることなので、次年度以降に本格的な検討を実行していく。 本社の営業部員が遅くまで残業をしている状況は改善がされていないので、仕事の仕方について、改めて改善検討が必要。
【総排水量の削減】
水道使用量は大きく削減できず、横ばい気味の状態。雨水利用などは目的が立たないので、日常の中で意識と行動ができるよう、啓蒙していく。
【廃棄物排出量の削減】
各日にゴミの削減はできているので、継続していく。裏紙の活用などが成果に繋がっていると見られるので、今後も継続しつつ、他にも削減できるものがないか検討を進める。
【紙の使用量】
請求・報告書・社内資料として紙を印刷する傾向に絞られてきた。顧客も関わってくるところを電子化していく事で、さらにペーパーレスが進められるので、次年度はここを改善できるよう行動していく。
【運搬車両の燃費向上】
各自のエコドライブ意識は高くあるが、限界的なところまできている状況。業務車両のハイブリッド・電気自動車は機能が実務に追いついていないので、すぐの導入はできないが将来的に導入検討は必要。
【環境配慮サービスの提供】
飲食店グリストラップ清掃 全国一元管理事業においてMIERUという管理システムの構築を行い、パートナー企業。お客様でも活用することで、紙管理など煩雑だった管理業務の効率化を進めている。実働は52期以降の予定となるが、開発は確実に進んでいるので、各企業への導入も同時進行で進めていく。

【8】 環境活動計画と実績

2024年度（51期2023年10月～2024年9月）の取り組み

項目	活 動 内 容	50期実績	実施時期	該当部門	
二酸化炭素排出量の削減					
電力使用量の削減	①適温設定(冷房時27℃、暖房時22℃)	○	通年	本社	
	②照明下に人がいない場所は消灯	○			
	③社内電気チェック表による定時節電巡回	○			
	④時間外勤務削減推進(ノー残業DAY週2回：月水)	○			
	⑤長時間離席する際はパソコンモニター消灯	○	5月～9月		
	⑥クールビズ推奨	○			
	⑦定期的なエアコンフィルターの清掃	○	12月		
	①照明下に人がいない場所は消灯	○	通年	ナチュア	
	②長時間離席する際はパソコンモニター消灯	○			
	③夏用制服着用	○	6月～9月		
④定期的なエアコンフィルターの清掃	○	12月			
ガス使用量の削減	①給湯器電源は未使用時OFF	○	通年	ナチュア	
	②洗濯のお湯は40℃設定	○			
ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底(車両毎燃費表で管理)	○	通年	営業部 及び 各部門長	
	②公共交通機関を積極的に利用	○			
	③走行ルートを組立て効率的な走行	○			
	④定期点検(タイヤ空気圧・オイル交換)の実施	○			
	軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底	○	通年	業務車両
		②急発進・急加速の禁止、ふんわりアクセル実施	○		
		③ドライブレコーダーの導入推進	○		
燃費向上					
収集運搬車両の燃費向上	①車両(車種)毎燃料表による管理	○	通年	環境サービス部	
	②進捗状況の掲示による啓蒙、教育	○			
総排水量の削減					
使用水量の削減	①洗濯・洗車の水は都度止水し使用を最低限にする	○	通年	ナチュア	
	②「車両受け渡し表」で9項目部分清掃の実施	○		環境サービス部	
	③トイレ(音姫)や給湯室(節水蛇口)の節水に努める	○		全部門	
	④雑巾はバケツで洗う	○			
	⑤雨水を積極的に利用	○		ナチュア	
廃棄物排出量の削減					
廃棄物排出量の削減	①分別の徹底とリサイクル	○	通年	全部門	
	②コピー用紙削減(ダイレクトFAX・スキャン等活用)	○			
	③社内文書の裏紙利用と両面コピーの活用	○			
	④パソコン・プロジェクト活用でペーパーレス推進	○			
	⑤受信FAXはデータ転送し印刷を控える	○			
	⑥プラスチックコップ使用削減(共有ブラコップ設置)	○			
白上質紙使用量の削減					
	①社内文書の裏紙利用と両面コピーの活用	○	通年	全部門	
	②パソコン・プロジェクト活用でペーパーレス推進	○			
	③受信FAXはデータ転送し印刷を控える	○			
	④書類保存はスキャンによるデータ化の推進	○			
	⑤Nアップ印刷の推奨	○			
グリーン購入の推進					
	①グリーンマーク・エコマーク表示製品の購入推進	○	通年	全部門	
	②作業服等のエコマーク商品購入推進	○			
フロン排出抑制法遵守					
	①管理者による簡易点検	○	年4回	内部統括部	
	②有資格者による定期点検	○	3年に1回		
地域融和の推進					
	①毎朝外回りの清掃	○	毎日	全部門	
	②彩の国ロードサポート・ロードレポート活動への参加	○	奇数月		
	③清掃ボランティア(所沢航空記念公園・女堀川・所澤神明社)	○	10月		
	④所沢市市民フェスティバルへの参加	○	10月		
環境配慮サービスの提供					
	①提出書類のデータ提出の推進(紙使用量削減)	○	都度	全部門	
	②受託する廃棄物について、リサイクルできるような形での提案	○	都度		
教育					
	①緊急事態の対応訓練	○	都度	全部門	
	②省エネ、エコドライブ教育	○	都度		
	③環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	○	2ヶ月に1回		

※次年度環境活動計画は当年度のものを極力踏襲します。

【9】 環境関連法規制等の遵守状況

1. 適用法規と規制事項

適用法規名	規制事項		条項
廃棄物処理法、 市町廃棄物処理再生条例	事業系一廃	市町の許可処理事業者に委託 市の焼却施設で処理できる品目（紙屑等）	6条の2 市町条例
	産廃の契約	収集・運搬業者と処分業者と個別契約、 委託は許可されている品目、許可証の有効期限	12条
	マニフェスト	㊸の戻り管理、㊸の保管	12条の3
	収集・運搬業者	収集・運搬基準の遵守、再委託条件の遵守 ㊸の回送、帳簿に記載し、帳簿の保存	14条,14条の4 12条,12条の3
自動車リサイクル法	リサイクル費用の支払い、廃車時にリサイクル事業者へ引渡		73条、8条
家電リサイクル法	廃棄時に料金の支払い、販売店へ引渡		6条、11条
自動車NOx・PM法	ディーゼル車は適合車（車検証で確認）		12条
浄化槽法	浄化槽使用者	浄化槽の設置と変更届出、	5条、7条
	浄化槽清掃業者	市町の許可と届出 標識の掲示、清掃実績の記録と保管	35条、37条 39条、40条
	浄化槽 保守点検業者	保守点検業の許可 浄化槽管理士による実施管理、掲示と帳簿備付	48条
フロン排出抑制法	漏れ点検	簡易点検、定期点検の実施、修理記録保存	16条
	廃棄時	フロンの回収、フロンマニフェストによる管理	41条、43条
（グリーン購入法） 必須ではない	グリーン購入の実施、目標の設定		8条
道路運送車両法	定期点検	定期点検整備の実施、点検整備記録を車両に備付	48条、49条
埼玉県 生活保全条例	自動車のPM規制	ディーゼル車のPM規制遵守、 PM抑制計画の作成と毎年報告	31条 36条、37条
	アイドリングストップ	運転者による励行、駐車場に掲示	40条、41条
	不正燃料	不正燃料の使用、販売禁止	43条
さいたま市、東京都、神奈川県、千葉県 の 条例	自動車PM規制 アイドリングストップ	埼玉県と同様な規制をしている	各都県市の条項
埼玉県 温暖化対策条例	計画書の提出	多数台自動車計画書の提出、実施報告	30条、32条
	エコドライブ推進者の届出	エコドライブ推進者を選任して届出を提出	33条

2. 遵守状況

コンプライアンス委員会で法律について確認をしています。

CSR委員会で情報を共有し、遵法を確認しています。その結果、違法事項はありませんでした。

また、当局からの違反の指摘、訴訟等は、5年間ありませんでした。



【10】 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 情報の収集と分析

見直しに必要な情報	資料の有無		環境管理責任者のコメント・提案
①環境目標の達成状況	■有	□無	設備増や5Sの活性化により電気、ガス使用量や廃棄物発生量の削減の目標達成とは至りませんでした。今後は営業車や環境サービス部の車輛入替え等により燃費の向上等に繋がると考えられます。社員の働く環境充実と環境目標の両立がどうすればできるか、今後はより深く検討していく必要があります。
②取組状況の評価結果	■有	□無	IT点呼やアプリでの車輛点検管理等、現場でのペーパーレス化も進んでいます。今後もDX化を進めていきます。
③環境関連法規制等の遵守状況	■有	□無	法律・条令に関しては特に問題はありません。部署間で連携を深めながら、情報収集強化に努めます。
④問題の是正処置及び予防処置の結果	■有	□無	ミス・クレームを全部署で共通認識させ、必要に応じて安全大会や研修を実施し、再発防止に努めます。
⑤エコアクション21内部監査の状況	■有	□無	ISO9001の監査と併せて実施しています。 (2024年10月16日実施)
⑥前回までの代表者の指示事項への対応	□有	■無	各項目について、指示事項に沿って取り組んでいます。 今後も継続して取組み、全体のレベルアップを図ります。
⑦外部からの苦情等の受付結果	■有	□無	システムにより集計し、前年との比較検証も行いながら、再発防止策の実行と結果検証をしています。
⑧その他	□有	■無	

2. 変更の必要性・指示事項

項目	変更の必要性		指示事項
①環境方針	□有	■無	特にありません。
②環境目標	□有	■無	特にありません。
③環境活動計画	□有	■無	特にありません。

3. 総合評価

これまでの内容についてはしっかりと成果を出せていると思います。今後はSDGsの推進をはじめ、更なるレベルアップが必要だと感じています。エネルギー排出削減はもちろんのこと、地域との関わりや防災面を含めたリスク予防活動等々、活動内容そのものの内容増強が必要だと思います。コンサルティング会社からの指導をしっかりと確認しながら多方面に向けて内容を充実させていきましょう。 2024年11月26日 齊藤 康祐

【11】 次年度の取組み

次年度の環境経営目標は中期環境経営目標の次年度の値を使用し、次年度環境活動計画は当年度のものを極力踏襲します。